

## スペシャルトークショー

今回、とてもユニークで興味深い3人の顔合わせが本紙で実現した。ヘアラルト阪神理容室専門学校の半田まゆみ理事長を介しての関係という芸術家、現代美術家として世界で活躍する鴨本昭三氏と、ヘアーティストとして美容界で大変有名な「LEGENDS」真木日本人で初めて受賞したヨシ・トーヤ氏の3人が一堂に会してトークを展開。コーディネーター役の半田理事長からの問いかけに味わいのある独特的の口調と表情で話す鴨本氏とヨシ氏。とにかく楽しいトークショード、もっと話を聞きたいと感じさせる内容に…。じっくり読んで頂きたい。

嶋本 昭三氏(芸術家・現代美術家)  
ヨシ・トーヤ氏(ヘアデザイナー)  
半田まゆみ氏(ヘアラルト阪神理容美容専門学校)

# 世界を舞台に活躍する 『生き様&仕事』を語る

半田 ます、私も貴の  
人の共感度は先生（成  
瀬）も共感ですよね。  
で磯本先生が頭を痛め  
由は、確かにイタリアの  
実であるカヴェリーニ  
がさっかはでした。石橋  
磯本 世界内々でいい  
持ちなアーチストで  
ど、金持つらないで  
のおまえを新メールア  
ド（新規の基準）に使っ  
る人。

共通点かいっぱい、ますほ  
3人とも坊主（笑）

いる仕事の分野は高い事で  
が、私が見た向かう仙人の多くは豪傑のし  
方向性が見えます。また、西す。そこで今日は  
一人とも、かわいい親しいコーディネーターにな  
ちゃん(微笑)。それにすお話を伺っていきます。

三、先生が何年もじこ興味なくか  
になりますね。興味で博がない人生、人と離れて  
いたトーキショードを通じて、人を傷つけたり、  
知り良い、うちの学校にもい。それでいて、オリジ  
ナリティのセミナーに来て頂ける生きる流れが、異  
なっています。お一人は穂やかですが、でも自  
ともすこし偉大くやって、自分の生き方に懸

A photograph showing three people in a room with a large whiteboard. On the left, a man in a dark suit sits in a chair. In the center, another man in a dark suit sits with his legs crossed. On the right, a woman in a light-colored dress stands near a small table. The room has a high ceiling with exposed beams.

### トークショーのしよう

「お四先生の出ででに、『國だらけ』  
叫つてゐるだ。それで方半田（方の細  
ガニリー二さん）に聞いても、自分で叫ぶる  
らうな氣す。

半田（天）では、ヨシ先 王由（王由）でも吉生（吉生）  
生はいつから始ますか？ 工事の力士より  
ヨシ 理由はない、禁物で とね（笑）

（笑）  
半田 それで越木先生は大  
阪の四天王寺の偉い住職さ  
のもいい相談で  
んに頼みに行つたそうです  
って言われたね  
ね  
堺本 「相がせて下さい」  
と頼みに行つたら、えらい  
感られた（苦笑）それな  
ら「自分が犠牲になつて強  
き弱りますから」と言って  
きさんは、「お

ばい。まずは  
(笑)  
橋本 そう。梅子や洋服、  
メガズ、何でもかんでもあ  
らゆるものに手ぐいをした  
こののどじのものはほいいら  
い。とお次がたいたよつたとき、名前・住  
け、聞いたたとかないわのトヤ・サンラ  
さんにはかねま  
ねお店の人もあ  
ットの日はも

ない人生、人と競争した程度かな（笑）。やはり、人在傷つけたりしな半田（笑）ヨイ。それでいて、オリジナ自らがアザレルな生き方をされ、普段気で「私は先生」とは穎やかですが、でもそこ「神様」って呼んでるのか、自分の生き方に順ですが、人の力はどこかがっている。そんなきれいにされる山人のような豪傑らしい感興の力アリトナ。語ります。そこ今日は私がヨシでできないコーディネーターになってから駆除さんとお話を聞つて、きます。

今年はまだ個別に行きます。東ヨーロッパ、  
ヨコスロバキアとかボ  
リビアとか、あの辺に行  
きます。

先生が会場を歩いている。いたら、係りの人が手と、「席に写真を撮って」と、藤本先生、何してます? 下さいとか、サイド席なんね? って(笑)。

## 世界中を旅行で回る日々、スケールの大きさを感じる

单田 またお二人の共通点で、月にはマダガスカルへは世界中を回っているらしい。近く伺ります。

藤本 三十五年は十中、三十五年の間は世界を回す。始めたからでは随分とついてる。スケールが大きい。一緒に世界巡りずっと回ります。藤本先生もいろいろ会社なり、約りが大好きで、いろんな所に行かれていますね。

ヨシ 世界旅行はこれまで、一歳のカウントまでです。いう場所がトルコのカウントまでまだ行く所はいっぱいありますよ。

先生は結婚が嫌うから」。この辯護になります。  
「なぜこゝに来ました？」  
「あ、だからドキドキ。以前京都で講演会で  
先生（笑）国内はもちろんで、その会場で先生はお  
とて想外と私一人はめしして、人がいて、「おお  
い計画、岡本先生はいらっしゃるやうです」といふ  
んな國からの贈り物を頂かれました。サインを求め  
られますね。「岡本先生といふか分からんのです  
が、食事ができる」とお任せせ」わ」。と書いたのが、今日は  
「おれますもんね」とは無い先生が来るからほん  
な先生の「ユーロー」のへ  
ぼよ」とたらあがん」と、アシターと一緒に行かせて  
て、一緒に動かされたので、一生懸命努力して、それが

